



令和4年9月27日
 経済局ものづくり支援課
 (公財) 横浜企業経営支援財団
 (学法) 岩崎学園 情報科学専門学校

岩崎学園との連携で中小企業のデジタル化を支援

～経営者の管理業務を月 200 時間から約 60 時間に削減へ～

横浜市は、公益財団法人 横浜企業経営支援財団（以下、IDEC 横浜）と共に、「ものづくりコーディネート事業」を通して、地域の中小企業の課題解決のためマッチング支援を行っています。

今回、本事業のマッチングにより、業務効率化を図りたい中小企業と、学生に実践経験を積ませたい学校法人岩崎学園 情報科学専門学校（以下、情報科学専門学校）とが連携してインターンシップを行い、中小企業のデジタル化による効率化へ大きく貢献しました。

インターンシップを通じた実践的な中小企業の業務効率化支援は、本事業で初めての取り組みであり、今後もこのようなマッチングを積極的に推進していきます。

1. マッチングの内容について



情報科学専門学校の学生・教員がインターンシップにて X 社のデジタル化を支援

2. インターンシップの内容について

インターンシップ概要		
テーマ	RPA※を活用した業務自動化・デジタル化導入支援	
参加者	情報科学専門学校	教員1名、学生3名
	X社	代表者1名、事務担当者1名
日程	2021年8月	インターンシップ内容の検討
	2021年9月～10月	業務フローの見直し
	2021年11月～ 2022年2月	RPA 設計、開発
	2022年3月	運用テスト、効果検証
	2022年4月～8月	RPA 改良、完成
	2022年9月～	保守開始



インターンシップの様子

※RPA(Robotic Process Automation)、パソコン操作を自動化するロボットによる業務自動化

3. インターンシップの成果について

(1) 市内中小企業 X 社

- 業務フローの見直し、業務手順の整備・整頓、ソリューション選定、RPA 導入シミュレーション及びプロセス設計により事務削減とデジタル化を実現
→代表者が行っていた原価管理作業…月間約 200 時間が約 60 時間に削減
→事務員が行っていた受発注作業…作業時間は 70 時間が約 30 時間に削減
- 情報科学専門学校より機械工作エンジニア 1 名が X 社に就職

【X 社社長の声】

管理業務が大幅に削減されたので、今後は更なる経営効率化・成長に向けた意思決定等に時間を費やすことができる。

(2) 情報科学専門学校

- 参加学生は就業体験を通じて実践的なスキルを習得するとともに、将来の働くイメージを明確化
- 市内企業との連携による新たな職業教育スキーム（インターン制度）の獲得

【参加学生の声】

インターンシップの経験を活かして、その後の就職活動もスムーズに進み、自分が本当に進みたいと思える会社（市内工作機器メーカー）からも内定をいただけた。

4. 「ものづくりコーディネーター事業」について

主にメーカーOB 等で技術や経営に関する専門的知識を有する IDEC 横浜のコーディネーターが、市内中小企業へ直接働き掛け、他の企業や大学との連携を行う「マッチング支援」を行っています。（IDEC 横浜ウェブサイト）

マッチング支援：<https://www.idec.or.jp/business/matching/index.html>

5. 情報科学専門学校のインターン制度について

情報科学専門学校では、学生が社会で活躍できる実践力を身に着けるため、学生ならではの専門性やアイデアを活かし、企業や組織の課題解決をお手伝いしながら仕事を体験する、インターンシップに積極的に取り組んでいます。今回の経験を活かして、今後は中小企業と連携したインターンシップを拡充することを検討していきます。

インターンシップ制度：<https://www.iwasaki.ac.jp/collaboration/index.html>

お問合せ先	
(ものづくりコーディネーター事業全般について)	
経済局ものづくり支援課長	瀧澤 恭和 Tel 045-671-3839
(マッチング支援に関する問合せ)	
公益財団法人横浜企業経営支援財団	
経営支援部長	加藤 盛司 Tel 045-225-3733
(情報科学専門学校について)	
学校法人岩崎学園情報科学専門学校	
経営企画部広報課	近藤 有華 Tel 045-311-5561